友愛大学の最高齢受護者!!



安登西在住の真木光子さん(94才)は、欠けた歯・治療した歯は1本も無く、友愛 大学で踊りを楽しみながら、何事にも感謝し日々生活しています。

仁方在住時から60年間民踊を稽古し、安登に来てからは友愛大学で、17年間も舞 踊の講師を務めてきました。平成13年講師をお嫁さんに譲った後は、お年寄りと一緒

に踊りを楽しんでいましたが、今年初めの 体調不良も友愛大学に入学し踊りだしたら 「元気になった」と喜んでいます。

お嫁さんは「母が元気でいてくれる事で、 自分も今の生活が続けられます」とお互いが感謝、話を聞い ていても背筋はびしっと決まっており、常に感謝の言葉を口 にされる光子さん。

今は踊りを楽しみながら近所のお友達とおしゃべりに花を 咲かせています。



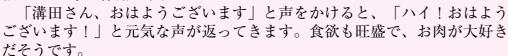
踊り仲間・左から2人目が真木さん

安浦町最高齢は、お肉大好きおばあちゃん!



安登西10丁目(小田野原)にお住いの溝田アヤ コさんは、明治42年生まれの107才。

安浦町の最高齢者です。103才まで編み物教室 に通い、畑仕事もしていました。右の写真の粘土 細工は105才の作品です。



小田野原団地の高齢者の皆さんは、溝田さんから元気をもらい、また目 溝田アヤコさん(右)と娘さん(左) 標にして頑張っています。

~生まれ変わったグリーンピアせとうちへ 行ってみませんか?

TEL 84-0262

リニューアルオープン記念は100日間限定で格安の1泊2食付きプラン(9.980 円) や入浴付きのランチプラン (2.100円) があるそうです。食材はできる限り 地元のものを使用したいとのこと。日帰り入浴は600円と安くなりました。施設



支配人の 髙山智行さん

内・客室はスタッフさん達の 手作りでおしゃれに改装され ています。支配人の髙山智行 さんは「地域の人たちに喜 んでもらえ、気軽に来られる 施設にしたい。グリーンピア せとうちが新しく生れ変わっ たと言われるように頑張りた い。」と意気込みを語ってく れました。みなさんも、どん な風に変わったか一度行って みませんか♪



まちづくり情報誌

TANTO



安浦町まちづくり協議会 〒 737-2516 呉市安浦町中央 4 丁目 3-2 (呉市役所安浦市民センター内) 電話: 0823-84-2261 (年 4 回発行)

安浦に鳥居ロードあり!! 新パワースポットか!!

安浦の市道、女子畑~赤向坂線(通称よこおず)約800m間には、鳥居が11箇所に12基設置されていま す。この道路の北側山上付近には、昔「山の神」が祀られていました。鳥居はその麓に点在し、不思議 な雰囲気を醸し出しています。

この地域では、昔「山の神」「田の神」が祀られていましたが、江戸時代末期の頃、朶平神社(シダ ビラ)に合祀されたと言われています。「山の神」として立っていた石は、平成22年7月集中豪雨の土砂 崩れで流され、現在は分からなくなっています。

赤向坂自治会の朶平地区では、毎年県道・市道の清掃を行い環境美化に努めてきましたが、女子畑~ 赤向坂線はゴミの不法投棄が多く困っていました。不法投棄を減らすため、地域の方が「山の神」を敬 い鳥居を自費で作っています。

これらの活動が認められ、今年6月には赤向坂自治会が呉市の環境美化ボランティアとして表彰されています。







おでかけ情報



毎週 (火・木・金) 10:00~15:00 安登駅前駐輪場2階

ストレッチング教室 10/10(火)10:00~11:30

=津□地区健康ウォーキング 12 / 2 (十) 9:00 集合 老人憩の家(参加費 200 円

11 / 12 (日) 14:00 開場

毎週 (火・木・金) 10:00~15:00 安登駅前駐輪場 2階

ストレッチング教室 12/12(火) 10:00~11:30

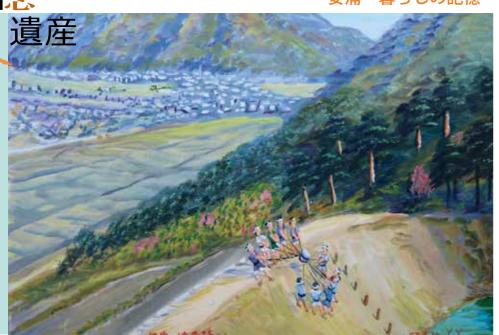
やすうら 記憶

山本譲翁の残した 450 枚の風物画でたどる

安浦・暮らしの記憶



建築普請で大人が行う地搗きの様子(内海、昭和20年頃)



「池普請」制作: 1978 (昭和 53) 年3月24日/ 写真資料と過去の見聞をもとに制作したものと推測

池の堤防を直す、池普請の光景です。大勢で集まり、水利、住居、道路など様々な普請の場で人力の地搗き(じつき)を行うことは相当に古い時代からのことです。

大人たちの地搗きは威勢が良く、またどこかユーモラスで、子どもの並々ならぬ関心を誘ったのでしょうか。 搗く行為が写しとられ、いつしか、旧暦の十月に子どもたちが家々を回る亥の子(いのこ)行事として西日本一帯に定着しました。 安浦とその周辺では、川尻、安芸津などでも行われていたと記録されています。

秋の日、〈亥の子石〉と呼ばれる特別な石に縄を結びます。四方八方から子どもたちが縄を支え、「亥の子、亥の子、亥の子餅搗いて祝わん者は、鬼生め、蛇生め(以下略)」と歌い、庭を石で打つのです。この行事の意味は、亥の多産にあやかる豊穣祈願、土中の悪霊払い、土に活力を与え来年の収穫を祈る、など様々な説があります。大人の地搗きは機械の登場と共に消えましたが、子どもの亥の子行事はさて今もどこかに残っているでしょうか。



コゲラが 住宅庭木に 単作り

コゲラ(キツツキ科)は、平地から低山の林にすむ小型のキツツキです。そのコゲラが、住宅(安登西市迫の加藤邸)の庭木に巣を作りました。

5月初旬コツコツと庭木を叩く音が聞こえました。 エサを探しているのかと思っていたら、2~3日後穴が

開き、6月中旬雛が顔を出しました。実は巣作りの音でした。雛にエサをやりに来るコゲラを見るのが楽しみでしたが、数日すると巣立ってしまい寂しさに変わりました。

近くを散歩する人たちは、コゲラがツバメのように来年もこの木に帰ってくることを願っています。





安登地区に食事処「豆ナ茶屋」オープン!

· 安登西2丁目8-8 · 電話 0823-69-8383

「豆ナ茶屋」は安登駅から安浦よりの岡谷バス停前にあり、5月にオープンしました。店名の由来は、「豆」につながる商品の開発・販売と、みんながマメ (元気) になるように願いを込めてつけました。昼時には「くれんど」の企画会議で決定した、豚丼・ピリ辛丼と「レシピの女王」プロデュースのラー油ソバ

や、地産地消の惣菜・味噌汁・漬物などを目当てに、満足満席のお客さんで賑わっています。 また、他には地元の生産物や陶芸品の販売コーナーもあり、NPO 法人「地域ネットくれんど」の一環として、地域での生活就労の場 所を作り、地域に愛され必要とされる店作りを目指しています。

営業日:火~十・祭日10:00~16:00 休日:日・月





株式会社光山組

安浦町中央6丁目3-1 TEL84-2209





旧社屋

新社屋と社員の皆さん

(株光山組は昭和30年の創業以来、誠実と信用をモットーとして地域に貢献する地場産業をめざして、 今日も頑張っておられます。

創業者光山雅義(90才)さんは、戦時中軍属としてゼロ戦や二式大艇の修理に関わり、戦後は大工として原爆死没者慰霊碑や資料館建設に携わられたのち、弟妹の協力も得て光山組を設立。

この間、大手ゼネコンや「世界のタンゲ」こと丹下健三氏が創業された建築設計事務所の業務にも精励され、また野呂山夢殿建設工事を請負われた際には、高松宮様にもお会いできたそうです。

昨今建設業界は就業者数の減少が続くなか、光山組では将来の地場建設業担い手となる人材確保と育成にも努め、社員個々の長所を伸ばしながら主体性を持って働ける職場づくりを目標にしています。 地域では「困ったときのかかりつけの建設屋さん」として期待されている会社です。

「ものづくりの楽しさ、つらさを実感できる建設業界」にもっと興味を持って頂き、さらに就業希望をされる方は、光山組に会社訪問されてはいかがでしょうか。

きでみる今と昔

安浦アーカイブ

□ご覧ください。
を持たるでは、
を持たるでは、
を持たるでは、
を持たるでは、
を持たるといる。
を持たるといる。
を持たるといる。

安登西6丁目・国保診療所



現在 診療所は勘定神社右側に移り、鉄筋コンクリートの2階建てに変った。経営も民間委託となったが地域の医療を支え続けている。

内海北 1 丁目・安浦小学校校庭



現安浦小学校周辺は民家が立ち並び、賑やかとなった。亀山神社・西福寺 浄念寺などは同じ位置にあるが、写直左側にあった祠は消失。